

行事予定

- 【2月】**
- ◇第34回保育のつどい 10日(土)午前9時 市民センター大ホール
 - ◇教育委員会定例会 13日(火)午後1時30分 市民センター第2会議室
 - ◇遠野郷しし踊り競演会 11日(日)午後2時 たかむろ水光園芸館
 - ◇市民インドアソフトテニス大会 17日(土)午前8時30分 市民体育館
 - ◇市民卓球大会 18日(日)午前9時 市民体育館
 - ◇北東北ナベナベサミット 24日(土)午後5時 たかむろ水光園芸館
 - ◇遠野町家のひなまつり 28日(木)～3月4日(日)午前10時～午後5時 一日市、穀町、駅前通りほか
- 【3月】**
- ◇ひなまつり子守唄コンサート in 遠野 4日(日)午後2時30分 ちよボラ

シリーズ 8 野の草・木

コウヤマキ すぎ科



昨年9月6日秋、秋篠宮家に生れた悠仁さまの「お印」として選ばれた高野槇(こうやまき)。本来であれば福島県以南に分布する常緑針葉高木です。

遠野にもありました。随所に庭木として植えられています。稲荷下こ線橋西側の穀町西公園に、

4本寄せ植えになっていました。この辺では見掛けることのないこの木の苗をだれかが手に入れて、庭の片隅に植えたのが大きくなったのでしょう。樹齢50年くらいになると思われます。

(上組町・青柳恵之)

図書館・博物館だより

☎ 62-2340

◆新着図書

◆一般向け

- ▽逃げ出した死体(栗本 薫)▽きらめくジャンクフード(野中柊)▽水の中の蜚(池永陽)▽すべての愛について(浅田次郎)▽夢か現か(高井有二)▽歎喜する円空(梅原猛)▽21世紀仏教への旅(インド編(五木寛之)▽氷の人形(森村誠一)▽雨を見たか(宇江佐真理)
- ◆子ども向け
- ▽おこりんぼの魔女がまたやってきた(ハンナ・クラーン)▽びんぼう神とばけもの芝居(岩崎京子)▽にわとりちゃんときぎつねくん(サラ・ブルグ)▽パイパイおやゆびゆきだるま(かさいまり)▽ゆきのしたのなまえ(フィリップ・デュマ)

◆催し物案内

- ◆博物館講座「百人一首にみる平安の雅」▽3月3日(土)午後1時30分▽図書館視聴覚ホール▽講師 市立博物館長・東京学芸大学教授石井正己氏
- ◆親と子の映画会▽2月

◆図書の貸し出しを中止しています

図書館情報をコンピュータに入力するため、図書館と移動図書館車「やまどり号」での本の貸し出しを3月31日(土)まで中止します。

なお、一階新聞雑誌コーナー・視聴覚ホール・二階閲覧室・大会議室は、通常通り使用することが出来ます。



鬼仙 南條 武則 著

一般向け

いとしい英華よ、君は妖怪なのか？鬼なのか？それとも仙人か？中国の南宋時代、鬼仙と呼ばれたあやかしの人と人間界の男たちが繰り広げる哀切で奇妙な物語六編を収録。

◆子ども向け



「アンナちゃん、なにがみえた？」インゲル・サンドベリ著

仲良しのせいとかおじさんはずきな帽子をかぶっています。その上に乗せてもらったら、いったい何が見えるのかしら。スウェーデンで愛されているアンナちゃんのお話。

文化トピックス

博物館特別展 「発掘された遠野南部氏」

春は町家のひなまつりや「せくらまつり」など歴史に關係の深いイベントが開催される季節です。博物館でも、歴史により親しんでもらおうと特別展「発掘された遠野南部氏」を開催します。南部家墓所から発掘された副葬品や鍋倉城の出土品を通して、遠野南部氏や城下町の歴史、文化を紹介するものです。

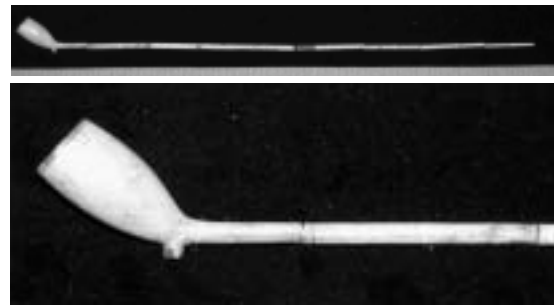
葬されることになり、岩手大学の板橋源教授らによって発掘調査が行われました。その際、墓の中から古銭、茶碗、徳利、かんざし、くし、鏡、きせるなど、殿様やその家族の生活の様子がうかがわれる身近な品々が多数出土しました。

中でも注目されているのが、南部義興の墓から出土したオランダ製の陶製パイプです。国内から出土したものの中では完全な形を留めた数少ないものであり、使用者と年代の分かる貴重な例であるといわれています。義興は、二十八代義顔の嫡子でしたが、安永五(一七七六)年に二十七歳で亡くなってしまいました。詩文や世界の地理に通じた知識人であったと伝えられています。若き日の義興もオランダのパイプをふかしながら、遠く西洋に思いをはせていたのでしょうか。

●会期 2月1日(木)～5月30日(火)、市民は会期中入場無料

●会場 博物館特別展示室

●記念講演会 副葬品にみる遠野南部氏 弘前大学助教授 関根達人氏、2月10日(土)午前10時、図書館視聴覚ホール



墓所から出土した陶製のパイプ(下は拡大) 長さ67cm、高さ4cm、直径2.5cm

遠野風土記 ⑬

あるとき、六日町の辺りで大火事があったときに僧侶に姿を変えた愛宕権現が、扇で火を消したという伝説が残っています。また、愛宕神社の周辺は、この権現のおかげで火災が極めて少なかったと伝えられています。愛宕権現は、境の神の性質も持



像高150cm、銅製

愛宕延命菩薩像

新町の常福寺境内に銅造の仏像が安置されています。この仏像は、延命地藏尊と呼ばれるもので、享保二(一七一七)年に豪商両川覚兵衛が愛宕神社(綾織町新里)に奉納したものです。愛宕神社は、京都の愛宕権現の分霊を勧請したもので、火伏せの霊験があると信仰されていました。

つており、同じ境の神の性質を持つ地藏と習合して信仰される事例が多く見られます。この尊像は、明治元(一八六八)年、神と仏を分けて祭るよう定めた神仏分離令により、愛宕神社から両川氏の菩提寺である常福寺に移され、延命地藏尊と呼ばれるようになりました。両川覚兵衛は、他に正徳四(一七一四)年常福寺に観音・勢至菩薩立像、享保十(一七二五)年大慈寺の釈迦如来坐像、元文四(一七三九)年伊勢両宮社・松尾神社社殿、宝暦三(一七五三)年常福寺本尊厨子等を寄進しています。本像は、正徳から元文年間(一七一〇～一七四一)頃に制作したものと推定されています。本像は、容姿も整い、鑄造技術も良好と認められており、遠野市内の銅造仏では最大のもので、市内における本形式の仏像としては、他に類を見ない貴重なものでもあります。

市指定有形文化財(彫刻)
所在地 新町
所有者 常福寺

市長 ひろし

逆転の発想

市民交賀会、成人式、消防出初式として小友町の産直ともちゃんでは二十万人目の買い物客を迎えるなど、あつという間に一月も過ぎました。遠野の里に春を告げる遠野物語ファンタジー公演とともに立春です。

「遠野越え」を合言葉に盛岡商イレブンは全国の頂点に立ちました。悔しさをバネに。今度は遠野の番と信じています。

新聞各紙はライバル遠野高イレブンの昨年の活躍がその原動力と報じていました。自治体でも、良い意味でのライバルとの競い合いの時代に入っており、「知恵と工夫」が求められています。マインナスをプラスに、「逆転の発想」は大切なポイント。

女性団体や児童生徒の皆さんを議員の立場に置いた模擬議会が市町村で行われています。例えば、これを「逆転」して市民の皆さんに市長以下当局の立場に立つて議論を交わしていただいては？市民の皆さんの答弁から知恵と工夫とヒントを得ることが出来るのではないかと考えています。(本田敏秋)

